

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2021
March

3

ガバナー月信
Vol. 9

Copy for members

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



ビッグひな祭りの象徴「遠見岬神社階段雛」観光のお客様日本各地より来勝され息をのむ。



日本のロータリー 100 周年

向笠 広次 (1912 ~ 1992)

日本から出た二人目の R I 会長 (1982-83 年度)。国際的にも著名な精神科医でした。テーマは「人類はひとつ 世界に友情の橋をかけよう (MANKIND IS ONE Build Bridges of Friendship Throughout the World)」。

1982 年、ボカロン国際協議会で「人類は疑いもなくひとつの家族です。さあ、皆さん、左右にいるオジサンやイトコと初対面のあいさつをしてください」と述べたのは有名。1967-68 年度第 370 地区ガバナー、1978-80 年度 R I 理事などを歴任。生まれは福岡県の久留米市。大分県・中津 R C 会員。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間／水と衛生月間



ロータリーは機会の扉を開く

水と衛生月間によせて



国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 撰子 (勝浦 RC)

グループ再編成施行の延期

先月のガバナー月信にて、地区グループ再編成につきご理解をお願い致しましたが、既にご案内の通り、地区内クラブの皆様からお寄せいただきましたご意見を鑑み、グループ再編成施行を延期とさせていただきますことを改めてご報告申し上げます。ご意見をいただきました皆様には感謝申し上げますと共に、クラブの永続的維持・発展と活性化のための DLP へのご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。私自身、今般の件が大きな騒動となりましたことにつき、ガバナーとして重大に受け止めており、深くお詫び申し上げます次第です。残る任期においては、特に 7 月 1 日からの梶原等ガバナー年度がスムーズにスタートを切れますよう、一意専心で臨む所存でございます。

緊急事態宣言下で

日本から近い台湾で開催予定であった国際大会は、残念ながらバーチャル開催が決定致しました。千葉県緊急事態宣言も延長下にありますが、微に入り細に渡りの規制と緩和を思い悩むよりは、「不要不急の外出は控える」、この言葉を一人一人が心がけることに尽きると考えます。ロータリー活動としては、地区内多くのクラブが、1 月 2 月の例会を取消し、或はオンラインにて実施をしている状況です。地区行事に関しては残念ながら RYLA は中止、IM なども一部延期の措置が取られていますが、地区セミナーもオンライン併用を導入するなど、全般的に with コロナの生活様式への適応力を高めております。

東日本大震災から 10 年

さて早いもので、あの未曾有の大惨事である東日本大震災から 10 年が経過しようとしています。地震・津波による様々な犠牲に加え、原子力発電所の事故そしてメルトダウンは、世界に衝撃を与えました。今なお、

4 万人以上の方々が、被災した故郷を離れ、全国各地で避難生活を送っています。当地区も今年度は、あの震災を風化させない為にも、地区組織に Festive Year 委員会を設置、チャリティイベントを実施して、広く一般の方々へ希望の風奨学金やポリオ根絶活動の認知を図る予定でしたが、コロナ禍のために断念せざるを得ませんでした。故・織田吉郎ガバナーが設立に尽力されたロータリー希望の風奨学金につきましては、10 年の節目を機に、改めて地区内クラブの皆様へご理解をお願いする所存です。

水と衛生

さて昨年末から年明けにかけて、南房総地域では、降雨不足による小向ダムの貯水率の著しい低下が見られました。かろうじて断水には至らなかった（と聞き及んでおります）が、年の瀬の時期に、住民の皆様は不安に思われたことと拝察致します。生活の根本に欠かせない最重要要素である水、とりわけ清潔な水を、日本ではほぼ当然のように享受していますが、ご周知の通り世界では 8 億人以上の人が清潔な水を利用できません。

衛生なくして経済なし

明治から昭和にかけて活躍した政治家の後藤新平氏は、当時ドイツからの最新の公衆衛生学を日本に導入、更には統治下であった台湾にも適用し、疫病の蔓延を改善しました。氏の「衛生なくして経済なし」という名言は、国民一人一人が健康体でなければ、国家の基盤維持、更には発展も難しいというメッセージです。現在の日本政府の方向性は、経済を止めることなく疫病を封じ込めよう、と受け止めておりますが、後藤氏の観点から考えると、まずはコロナ対策ありきで、国民を健康な状態に戻すこと、それが最大の経済政策に繋がるということでしょうか。かつての月信でも述べましたが、日本は他国と比べて衛生観念が高いほうと認識しております。私達ロータリアンは、清潔な水の利用に必要な設備等の物的援助、そしてなぜ正しい衛生観念が大切かという啓蒙活動の 2 つの面をもって、より多くの国や地域で、人々が安心して飲める水が、中長期的に確保出来るようにしなければならぬと考えます。

「ロータリー談義の集い」第6回に参加して

米山記念奨学会評議委員 宇佐見 透 (千葉幕張 RC)
パストガバナー



「和而不同」を思う。

当日は浦安ベイ RC 月居幹事、千葉西 RC 藤崎会長、君津 RC 岡野会長エレクト、茂原中央 RC 村田会長エレクト、富里 RC 原管理運営委員長、安孫子 RC 村越会長等 6 名のグループ代表の方々に堀内統括委員長、海寶研修委員長、司会進行役の小篠委員、記録の吉岡委員、矢野委員が加わり、大内委員の開会宣言で始まった。主旨説明の後、早速 25 分の持ち時間でロータリーに入会した動機、ガバナー職を経てのロータリーモーメントを話した。

昼食、休憩を挟み、午後はクラブ代表の方々からそれぞれお持ちのモーメントが話された。出席された方々は現会長や会長エレクトとして既にリーダーを務められておられることから、皆さん話上手で意外な逸話で盛り上がり、笑い有りの楽しいひと時でした。

本来であれば、クラブを通じての“真の友人作り”であるとか、“奉仕事業を通じての人間形成”の醍醐味など、「ロータリーの矜持」が聞けたのではと思うが、昨今はどうしても、グループ再編問題についての情報や、

クラブの運営などに話が進みがちで、委員会の皆さんが話題の軌道修正にご苦労される場面もありました。談義後に自由参加で本音の話をしようとの委員長提案から打ち解けた中、率直な意見交流がなされた。

今はネット等を通じて様々な意見や考えが飛び交う時代。そんな情報が交錯する時代だからこそ「和シテ同ゼズ」の精神でロータリアン個々人が、真摯に自らの確たる意見を持つべきと感じた。



「ロータリー談義の集い」第1回に参加して

副ガバナー 諸岡 靖彦 (成田 RC)



12月19日、台風で延期となった、遅れの第1回「ロータリー談義の集い」に参加しました。地区研修委員会の意図は、地区内全クラブを14組に分けて草の根に自学自習の場をつくり、肩の張らない普段着の語らいの機会として、「クラブが主役」となり「奉仕の理念の実践」ができる意志をクラブに持ち帰ってもらおう!と言うものでした。

冒頭は、アドバイザーという役割の小生のロータリー談義から始まりました。小生は、クラブという地域社会のつながりの中で、地域に傾けて来た活動とロータリー人脈との出会いの中で、揉まれてきました。入会早々でCLPクラブ・リーダーシップ・プランの洗礼を受け、当地区では早くからRLIロータリー・リーダーシップ研究会を通して友情と奉仕の意義を感じてきました。昨年のガバナー年度は幸いに地区大会は予定通りに終了出来ましたが、コロナ禍という非情な現実にも阻まれ、思いを閉ざされました。今、なおその現実が往く手を阻んでいますが、それは当然の与えられた条件として、乗り越えてゆかなければならないものです。

さて皆さん、コロナに侵されつづけて、クラブは今、これに対抗出来ているでしょうか？会員間の絆のつながりは緩んではいませんか？会員の年代ギャップは結

束に災いしていませんか？若い世代のリーダー育成は進んでいますか？これまで通りのクラブ運営で、コロナ禍に対抗できますか？クラブの戦略計画やビジョンは見直さなくて大丈夫ですか？会員の維持増強に確たる見込みはあるのでしょうか？クラブの現実と現状を見極めてください。クラブの課題が見えてくれば、変革は始まるのです！

「ロータリー談義」は会員の帰属意識を探る好機です。この「談義の集い」に参加された皆様は、クラブに帰られてから、即、クラブの「談義の集い」を開始してください！



本年度の RYLA 研修の行方について

2020-21 年度 RYLA 小委員会

委員長 内藤 智介 (君津RC)



本年度、開催予定でした RYLA 研修は緊急アンケートのご意見を参考に中止と致しました。その後に二度目の緊急事態宣言が発令された事を踏まえると、皆様のご協力とご賢察に感謝いたします。

但し今後の開催は非常に困難な状況です。新型コロナの第一波時は医療崩壊させない方策で重症者のみを対応し、軽症者は発熱しても4日間検査もせずに自宅で療養でした。その為にある病院では他の病気で来院した無症状の外来患者をPCR検査したところ、陽性率が6%にも上り東京都人口約1400万人中84万人の陽性者が東京都に居たと推察されます。現時点の陽性率は10.5%に増え今後も感染は拡大し続ける事は避けられないでしょう。

ゼロリスクはどう考えても不可能なので大勢の人が集まるイベントでは感染リスクを受容して頂けない限り開催

は不可能だと言わざるを得ません。ワクチン接種でも既に何十人と亡くなり、薬も副作用があります。逆説的に言えば、毒にならなければ薬にもなりません。以上を踏まえると、今後はオンラインセミナーが予想されますが、YouTube等で優秀なコンテンツも数多く揃っており、呼べば何百万円も必要な講演も無料で視聴できますので、中途半端な内容ではとても太刀打ちできないでしょう。

時代の変わり目とも言える状況下では、正直に言うところには荷が重すぎますので、造詣の深い諸先輩方にお知恵を拝借し模索したいと存じております。

適応力を高める 『いろんな例会の形を試してみよう』 ～FAX例会～

柏西ロータリークラブ
広報イメージ委員長 浅野 肇

本クラブも2020年2月下旬から5月一杯まで例会を中止していました。その後例会は再開されましたが、事業所の都合で出席ができない会員も数名いるので、7月よりZoomの配信を開始しました。そして8月の理事会でZoom参加者は出席扱いとすること。また、ロータリーの活動を完全に止める事は好ましくないのも、また非常事態宣言が出た場合は、ZoomかFAXでの例会を行う事を決定し、Zoom例会の実験運用を進めていました。

今回、当クラブでは11月の通常例会直後に休会を決定したため、会員に直接告知する事なく休会となりました。年次総会の開催の義務もあり、急なZoomのみでの例会開催は参加できない会員が多数出る事が考えられるため、事前の決定通りにFAXでの開催を行うことを決定しました。例会文書の作成はIT・会報委員会の担当となります。

FAX例会の開催はライングループにて告知し、会員全員にFAXを行い、また、事務局にメールアドレスを登録している会員にはメールでも送信した上で、感想欄

に感想を記入して返信した会員を出席扱いにしています。

実際に行動しているのは

会長：会長挨拶執筆
事務局：幹事報告、感想の取りまとめ
プログラム委員会：卓話執筆者の選定
卓話担当者：卓話の執筆
IT・会報委員会：編集、その他催促
出席委員会：出欠の確認

として例会前日に編集を行い、理事会のライングループで閲覧して校正します。例会日に事務局へ送信し、事務局からFAX、メール送信を行います。そして翌週までに帰ってきた感想を事務局が取りまとめ、出席委員会が出欠を確認するという流れです。

会報委員会としてはできるだけ負担がかからないように、会報作成のついでという感じで例会文書の作成を行っています。

国際協議会に参加して

国際ロータリー第 2790 地区
2020-21 年度ガバナーエレクト 梶原 等（千葉 RC）



2月1日より2月11日迄の11日間、国際ロータリー初となるリモート開催方式での国際協議会（International Assembly）に参加して参りました。

コロナ禍が無ければフロリダ州オーランドに会場を変え初めての開催地での国際協議会となる予定でした。プログラムは2/1 深夜 23:00からの本会議にてスタートしました。深夜 23:00~ の7回の本会議、AM11:00~ ガバナーエレクトは7回の分科会+パートナーも同様に AM11:00~2 回の分科会、その他クラブ支援室セミナー等 17 のプログラムを受講して参りました。本協議会はローターアクトも参加し日本からは6名のローターアクトが選出され参加しました。分科会でも一緒にセッションに加わりました。本会議、分科会共にプラットフォームと呼ばれる WEB 上の本会議場へアクセスし夫々の部屋に入室していくイメージで本会議や分科会に参加します。

初日の本会議でシェカールメータ会長エレクトはこの様に語っております。
“超我の奉仕” ロータリーの原点であるこの標語に大きな感銘を受けられすべての行動に照らされていると。

ロータリーは「自分より先に他の人を先に考

える」と仰っております。これはロータリアンとして行動を起こす際にまずは、他人を思いやる心であると受け取りました。いわゆる service（サービス）、奉仕の心です。そして奉仕についてはこの様にも仰っています。「奉仕とは私たちがこの地球で生活をする上でこの土地を借りる賃貸料である」とも仰っています。シェカールメータ会長はその様な視点でご自身は与えられた環境に対する感謝の心を持っていらっしゃいます。この点をとりにしても私達ロータリアンが根底に置くべく職業奉仕、いわゆる職業倫理の精神であることに親しみを感じ改めてその行動力のあるシェカールメータ会長エレクトと共に歩んでいこうという決意をさせて頂きました。



そしてシェカールメータ会長エレクトは奉仕を実践し続け、奉仕に目覚めた事でロータリークラブの会員から“ロータリアン”になったとご自身の奉仕活動の経験からお話をされました。奉仕にはロータリアンの DNA があるとも仰っております。

他の人の為に生き奉仕をすることで誰かの人



生を豊かにできるという事は自分の人生で最高の生き方であると。そして誰かの為に生きてこそ人生は価値がある。「奉仕とは誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かにする」と熱いメッセージを発信されました。

2021-22 年度は人々の為に奉仕し、その人生をより豊かにするために援助して下さいとお願いされました。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

その上でメータ会長エレクトは 2021-22 年 RI テーマを

SERVE TO CHANGE LIVES

“ 奉仕しようみんなの人生を豊かにするために ” とされました。

直訳をすれば奉仕をして他の人の人生を変えとなりますが、これには大きな意味があります。奉仕とは =Service(サービス)すなわち、職業奉仕の精神であるということでしょう。その奉仕を通じて地球上の人々の人生を豊かなものにしていこう。というメッセージであると思います。

それでは具体的なアクションについては以下の様にお話をされています。

1. 会員増強です。

Each One Bring One つまり会員一人が一人を入会に導きましょうという事です。国際ロータリーの会員数はここ 17 年間 120 万人のまま

でした。これを私達が任期を迎える 2022 年 6 月末までに会員数を 130 万人にしようということです。地区のすべてのロータリアンにこれをお願いしてください。そしてリーダーである私達ガバナーエレクトにその先頭を切って実践してほしいと仰っています。

会員を増やして参加者の基盤を広げるという目標は「世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクト」を開催しようということです。多くのロータリアン、ローターアクト、インターアクト、市民の人々を巻き込みます。



さあ、変革者であるロータリアンの皆さん、DO MORE、GROW MORE もっと奉仕しましょう、もっと行動しましょう

そのプロジェクトは“LARGE PROJECTS”となるのです。

2 “女子のエンパワーメント“(EMPOWERING GIRLS)を強く前に押し出しています。そしてロータリーの中核的価値観は多様性であり、ロータリーの DEI (多様性・公平さ・開放性)に対する信念を表した公式声明もあります。今でこそ、日本では教育を受けられない女性は居ませんが世界中を見渡せば女性の置かれている環境(差別や不利益、機会の欠如)は決して良いとは言えません。教育すら受けられない環境下の女子(女性)は沢山います。女子(女性)の持っているポテンシャルを社会に生かせるようにする。教育・健康・そして経済的発展を女子(女性)がもたらすことの出来るステージをロータリーから創り出していこうと提言されています。

女子の教育、健康、経済的発展を確保してよりよい機会の為のスキルを与える



3 ロータリー奉仕デイの実施です。

“ロータリー奉仕デイ”はロータリーの活動を世界中に示し、ロータリアン一人一人がロータリーのブランド大使になってこれを実行してほしいと仰っています。

2021-22年度ロータリー奉仕デイには以下の内容を満たしてほしいとのことです。

ロータリークラブの他、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブを含めて2団体以上が参加し、ロータリー7つの重点項目に少なくとも一つ以上は合致していること。参加者の25%以上はロータリーの現役会員ではないことが望ましい。また広報活動をしっかりと行ってほしい等。



オンラインを駆使してのバーチャル国際協議会は RI 事務局、日本事務局はじめ多くテクニ

カルスタッフのサポート、そして世界中の研修リーダーの方々に支えられ大きなトラブルなど一切なくインパーソンで開催される国際協議会より中身の濃い研修を行う事が出来ました。セッションの終わる度、日本の同期ガバナーエレクト34名はオンラインで再び繋がり各セッションで出た内容に関して討論を重ね深夜（夜中）迄Zoomを使いながら語り合いました。パートナーも同様に非公式のZoom懇談会を適時開催し親交を深めておりました。直接の肌の温度を感じる事は叶いませんでしたが、オンラインでの研修であった為繰り返し本会議のVTRも復習出来ました。本当に充実した国際協議会であったと自負しております。

RI 史上初のオンライン国際協議会参加者ですから。本研修で培った経験を7月から始まりますガバナー年度のスタートに向けて今一度整理をして最終の準備に入って参ります。

そして最後にもう一度確認です。

“船は港に居れば安全です。

船の目的は港に居ることではありません。海に出てこそ船の目的が成就されるのです。

変革者である我々は冒険でありメンテナンスではありません。”

“私達は奉仕し、みんなの人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っています。”

さあ行動しましょう。シェカールメータ会長エレクトの想いを実現するために、私たちは新たな時代を築いていかなければなりません。世の中は変化をしているのです。ロータリーも変化をしていかなければなりません。

以上国際協議会参加報告とさせていただきます。



本年度の日本青少年交換の行方について

国際ロータリー第 2790 地区 危機管理委員会 委員長
RIJYEM 事務統括 津留 起夫 (市原 RC)



WHO によるパンデミックが宣言されて以来、感染拡大は一時的には収まる気配がありましたが、年が明けた現時点では第 3 波の状態が続いており、ピークが何時になるのかさえ分からない状態となっています。COVID-19 の感染拡大は、ロータリーの活動に多くの変更を強いています。

中でもその影響を大きく受けたのは、青少年交換プログラムでした。このプログラムでは、学生を世界各地に親善大使として派遣しています。日本での緊急事態宣言が出されたのを受けて、RIJYEM は世界に先駆けて安全指針を出し、出来る限り学生を早期帰国させるようにガバナーに要請をしました。当時日本 34 地区から 176 名が派遣されていましたが、昨年 4 月 25 日までに帰国できたのは、108 名でした。

RI は、2020 年 6 月の理事会で、交換プログラムの任意中止を決定しました。そして、安全ガイドラインに従い、危機管理計画の策定をした地区に於いては、2021 年 1 月からプログラムの再開ができるとしましたが、COVID-19 の感染拡大は一向に収まらず、ついに 2020 年 11 月の理事会では、2021 年 6 月 30 日までの義務中止を決定しました。

さて、RI は 2021-22 年度、つまり 2021 年 7 月 1 日以降に向けた指針をまだ発出していません。このプログラムは、少なくとも毎年 1 月には相手との交換準備を終えていなければなりません。その為 RIJYEM は、34 地区ガバナーに向けて 12 月 11 日に「指針その 6」を出

しました。外務省の感染症危険情報レベルを基準にした指針です。派遣先国がレベル 1 若しくは 2 であれば、安全ガイドライン及び危機管理計画のもとプログラムに参加できるとしました。但し、再び新たに RI 指針が発出された場合は、RIJYEM 指針より優先してそれを遵守しなくてはなりません。

現時点では、過去に交換実績のあるレベル 2 以下の国は、オーストラリア、ニュージーランド、台湾、タイの 4 ヶ国です。安全ガイドラインには、学校で完全な対面授業がなされている事が条件の一つとなっています。また、各国の水際防疫体制の障壁があり、PCR 検査の陰性証明や入国 14 日間の自己隔離等があります。更に交換プログラムでは、学生を家庭環境と違うホテルなどへの単独生活を認めていないため、14 日間の短期間といえどもこの問題を解決しなければなりません。

この様に、プログラム再開には多くの困難を克服しなければなりません。しかし、必ずや Exchange ジャケットに交換バッジを一杯付けた学生が戻ってきます。その為にロータリーは準備を怠りません。1 月の時点で、ワクチンの接種が海外で始まっています。プログラム再開の障害がこのワクチンで解決するかどうかは不明ですが、再び親善大使の青少年が世界を駆けまわる時が早く来ることを心より願っています。

(注記) RIJYEM: 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構

RIJYEM とは

RIJYEM は、世界への学生派遣と世界からの学生受入という交換留学を行い、学生を国際親善大使として、受け入れ先文化と派遣先文化を安全に且つ安心して学びうる環境を育むための活動を支援するものです。

その理念は、「国際理解と平和の最高の推進力は、異文化を体験することです。異なる国の文化と生活習慣を経験することによって、その国の人との相互理解が深まります。この相互理解こそが、いつの日にか訪れる未来永劫の平和と協調の基盤となりえる」、ことにあります。

RIJYEM は、社会奉仕の一貫としての、交換学生留学のあるべき姿、学生のあるべき姿、ホスト・ファミリーとその支援団体のあるべき姿、青少年交換の問題点と解決法等を研究し、広報し、地域社会の理解と協力をお願いし、学生に対してはそのノウハウを教授するものです。

叙勲・褒賞・表彰（敬称略）

厚生労働大臣表彰



森 義 隆
(松戸西 RC)

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財回寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



堀内 正一
(木更津 RC)
7回目



小倉 純夫
(松戸 RC)
5回目



槍木 勝典
(八街 RC)
4回目



織田 信幸
(松戸 RC)
4回目



中澤 雅彦
(松戸 RC)
3回目



森 田 雅久
(松戸 RC)
3回目



藤崎 一成
(銚子東 RC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー



堀 猛
(銚子東 RC)



川並 芳純
(松戸 RC)



日暮 幸信
(松戸 RC)



佐川 清
(松戸 RC)



森 正浩造
(松戸 RC)



森 秀 樹
(柏南 RC)
3回目

米山功労者

新ロータリアン（敬称略）



石井 雅芳
(千葉若潮 RC)
建設
1月1日入会



田村 健
(千葉若潮 RC)
建設
1月1日入会



齊藤 洋子
(柏南 RC)
エステティックサロン
1月1日入会



山本 汎
(佐倉中央 RC)
印刷
1月6日入会



前野 洋幸
(袖ヶ浦 RC)
流体機械製作
2月1日入会



猪早 恵美子
(柏 RC)
社会福祉事業
2月3日入会

私達は震災を忘れない～ロータリー希望の風奨学金

去る2月13日午後11時過ぎの突然の大きな揺れに、10年前を思い出された方も多いと思います。今回の地震は東日本大震災の余震ということですが、今後も続く可能性のある未知数の自然の脅威に、私たちは常に適応力を高めていなければならないことを実感致しました。

冒頭のご挨拶内、またガバナー月信先月号にて吉田地区幹事長が寄稿致しましたが、今月は東日本大震災から10年を迎えます。震災直後、当時のガバナー会（同期ガバナー34名からなる会）の中に「東日本大震災支援金等委員会」が発足しましたが、委員長には、銚子ロータリークラブ所属の故・織田吉郎PDGが就任されました。その後7月を過ぎロータリーの新年度を迎え、10月には「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」が新設され、ここでも故・織田PDGは副委員長兼会計をご担当されました。そしてこの協議会において、被災遺児への育英資金として、「ロータリー希望の風奨学金」による奨学金制度がスタートしました。震災によって、両親もしくは片親を亡くした被災遺児で、大学（短期を含む）・専門学校にて学ぶ者に対し、入学から卒業まで毎月5万円を給付する奨学金制度です。

現在の奨学生は157名ですが、震災発生時0歳だった遺児達が大学を卒業するまでには更に12年あります。また連絡協議会によると、最近はこの奨学金制度が広く認知されるようになり、募集する学生さんの数も増える可能性があるとの事です。身近なお話では、震災でご両親を亡くされた方がこの奨学金を受領され、現在麗澤大学に通われているそうです。地区内外クラブの例会にて卓話もされるそうですが、素晴らしいロータリーファミリーの一人であると感じざるを得ません。

クラブオールで配信しております、「風の便り」通刊77号にもございますように、連絡協議会から、近々に「小史 希望の風 ロータリー希望の風奨学金―被災者とともに」が発刊の予定です。どうぞ皆様、青少年の将来を思い、希望の風奨学金へのご理解とご寄付をお願い申し上げます。

ロータリー希望の風奨学金ホームページ：<https://kibounokaze.com/>

（こちらから、送金先口座、及び送金時に必要な「送金確認書」のダウンロードが可能です。）

文：漆原摂子

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2021 年 1 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	0.00	0	42	4	42	4	0
	市川東	0.00	0	39	2	38	1	△1
	市川南	78.00	1	23	2	20	2	△3
	浦安	0.00	0	43	2	42	2	△1
	市川シビック	0.00	0	33	0	32	0	△1
	浦安ベイ	53.00	1	13	2	14	3	1
	平均	21.83	0.33	32.17	2.00	31.33	2.00	△5
第2グループ	船橋	0.00	0	30	0	30	1	0
	船橋西	0.00	0	28	5	25	5	△3
	鎌ケ谷	0.00	0	26	1	27	1	1
	船橋東	83.33	1	27	2	26	2	△1
	船橋南	81.82	3	13	2	13	2	0
	船橋みなと	0.00	0	14	2	15	2	1
	平均	27.53	0.67	23.00	2.00	22.67	2.17	△2
第3グループ	千葉	100.00	2	98	5	107	6	9
	新千葉	100.00	1	53	0	56	0	3
	千葉西	0.00	0	51	5	49	5	△2
	千葉中央	100.00	1	26	0	26	1	0
	千葉幕張	0.00	0	37	4	32	3	△5
	千葉東	47.86	2	23	1	24	1	1
	千葉若潮	0.00	0	31	1	33	1	2
	平均	49.69	0.86	45.57	2.29	46.71	2.43	8
第4グループ	千葉南	0.00	0	51	5	48	3	△3
	千葉原	0.00	0	59	5	63	6	4
	千葉港	62.50	1	25	3	25	3	0
	市原中央	0.00	0	45	1	47	1	2
	千葉北	54.84	1	30	4	31	4	1
	千葉緑	55.00	2	23	2	23	2	0
	平均	28.72	0.67	38.83	3.33	39.50	3.17	4
第5グループ	木更津	0.00	0	24	3	28	3	4
	上総	42.85	1	15	0	14	0	△1
	富津中央	0.00	0	36	5	35	5	△1
	木更津東	0.00	0	43	7	42	7	△1
	君津	74.07	1	57	5	56	5	△1
	袖ケ浦	0.00	0	26	4	26	4	0
	富津シティ	0.00	0	12	1	13	1	1
	平均	16.70	0.29	30.43	3.57	30.57	3.57	1
第6グループ	館山	82.22	1	49	4	50	4	1
	鴨川	100.00	1	33	5	31	5	△2
	勝浦	83.10	3	42	5	40	5	△2
	千倉	50.00	1	4	2	4	2	0
	鋸南	71.79	3	13	2	13	2	0
	館山ベイ	0.00	0	24	0	25	0	1
	平均	64.52	1.50	27.50	3.00	27.17	3.00	△2
第7グループ	茂原	76.00	1	57	5	56	5	△1
	東金	88.23	1	18	2	20	3	2
	大原	100.00	1	10	1	10	2	0
	大多喜	0.00	0	6	1	8	1	2
	成田空港南	0.00	0	29	0	27	0	△2
	茂原中央	0.00	0	20	2	24	3	4
	大網	0.00	0	30	2	30	2	0
	東金ビュー	72.72	1	13	1	11	1	△2
	平均	42.12	0.50	22.88	1.75	23.25	2.13	3

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	79.14	3	38	4	38	4	0
	旭	53.70	4	39	4	38	4	△1
	八日市場	0.00	0	39	3	39	3	0
	銚子東	78.03	2	30	2	29	2	△1
	平均	52.72	2.25	36.50	3.25	36.00	3.25	△2
第9グループ	佐原	100.00	1	46	0	44	0	△2
	多古	71.43	1	19	0	17	0	△2
	小見川	91.30	1	26	0	28	0	2
	佐原香取	0.00	0	20	0	20	0	0
	平均	65.68	0.75	27.75	0.00	27.25	0.00	△2
第10グループ	成田	91.13	4	64	4	64	5	0
	八街	92.86	1	29	3	30	3	1
	印西	77.25	2	14	1	11	1	△3
	白井	84.61	1	11	1	13	1	2
	富里	0.00	0	33	1	33	1	0
	成田コスモポリタン	66.67	1	71	0	72	0	1
	平均	68.75	1.50	37.00	1.67	37.17	1.83	1
第11グループ	柏	0.00	0	64	8	63	8	△1
	我孫子	75.00	1	32	3	32	3	0
	柏西	70.97	2	58	3	62	3	4
	柏東	0.00	0	34	5	33	5	△1
	柏南	100.00	1	39	9	40	10	1
	平均	49.19	0.80	45.40	5.60	46.00	5.80	3
第12グループ	習志野	72.41	1	31	1	31	1	0
	八千代	89.58	1	54	0	54	0	0
	佐倉	0.00	0	36	2	35	2	△1
	八千代中央	0.00	0	26	1	26	1	0
	四街道	0.00	0	27	4	26	4	△1
	習志野中央	66.67	3	45	5	45	5	0
	佐倉中央	69.56	1	23	6	23	6	0
	平均	42.60	0.86	34.57	2.71	34.29	2.71	△2
第13グループ	松戸	100.00	0	60	0	62	0	2
	松戸東	0.00	0	44	0	46	0	2
	松戸北	68.99	1	33	0	32	0	△1
	松戸中央	71.25	1	37	7	37	7	0
	松戸西	68.52	2	27	0	27	1	0
	平均	61.75	0.80	40.20	1.40	40.80	1.60	3
第14グループ	野田	0.00	0	55	6	56	6	1
	流山	0.00	0	16	3	16	3	0
	野田東	85.19	3	18	0	18	0	0
	流山中央	0.00	0	20	1	20	1	0
	野田セントラル	95.65	1	24	1	23	1	△1
	平均	36.17	0.80	26.60	2.20	26.60	2.20	0

クラブ数 82RC

2020 年 7 月 1 日	地区会員数	2,726 人
2021 年 1 月末日	地区会員数	2,734 人
2020 年 7 月 1 日	地区女性会員数	205 人
2021 年 1 月末日	地区女性会員数	212 人
当月平均出席率		45.43%
増減		8
女性会員増減		7

物故会員（啓略略）



増田 裕（千葉中央 RC）
 逝去日：2021 年 1 月 28 日（享年 81 歳）
 ロータリー歴：1986-87 クラブ幹事
 1991-92 クラブ会長
 2002-03 ガバナー補佐
 2003-04 ガバナー



長島 正巳（松戸北 RC）
 逝去日：2020 年 2 月 18 日（享年 64 歳）
 ロータリー歴：2012-13 クラブ会長

2021 学年度面接試験と新年会ご報告

公益財団ロータリー米山記念奨学会委員会

委員長 鈴木 荘一（君津RC）



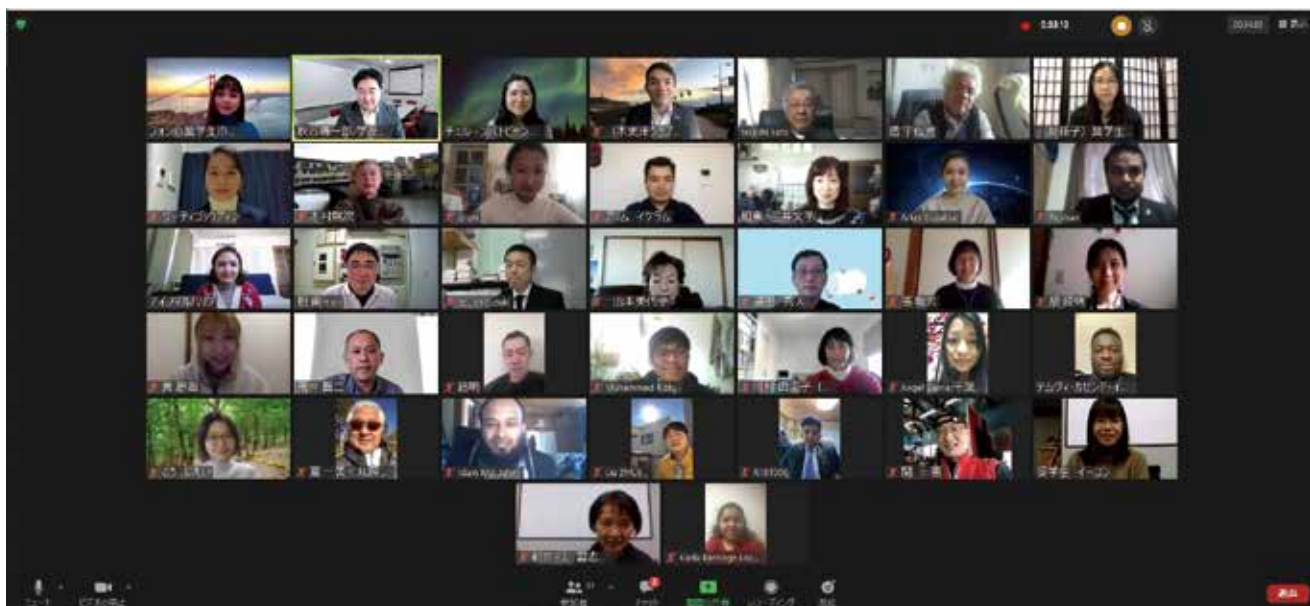
1月9日（土）9時から17時に2021学年度（公財）ロータリー米山記念奨学生面接試験を漆原摂子ガバナー、梶原等ガバナーエレクト、小倉純夫ガバナーノミニーも面接官として加わって頂き開催し、無事選考を終了しました。20名という狭き門に各大学から推薦された（1名クラブ推薦）50余名の皆さんが受験されました。様々な分野で卓越した研究をされた多種多様な受験者の中からの選考は悩みのタネではありましたが合格候補者を20名（公財）米山奨学会へ提出しました。財団の審査を経て晴れて合格となります、合格した暁にはご紹介と地区内クラブの皆様へ世話クラブとしてご助力を頂きたいと思っておりますので引き続きよろしくお願い致します。

1月10日（日）には米山奨学生の新年会をオンラインで開催しました。開催には全員の奨学生はじめ、宇佐見パストガバナー（公財R米山記念奨学会評議員）はじめ多くのロータリアンの皆さんも参加され、アットホームな新年会を開催することが出来ました。宇佐見PGからは「様々な情報が流れているが他人の意見に流されず自分を信じてその信念に基づいて活動してください」と新年のこトバを頂きました。参加された奨学生からは「コツコツ卒論に向けて徹夜で頑張っている」「新型コロナウイルスの感染拡大の現状では研究がままならないので研究テーマを変えようか考えてる」「おせち料理を

送って頂いたり、アドバイスを頂いたり奨学金以外でも物心共に支えられ現況に集中できている、ロータリーから与えられたエネルギーを生かして社会に貢献していきたい」などの話があり、また、カウンセラーのロータリアンの方からは「毎回例会に参加してくれて生涯続く関係ができる」というお話がありました。私個人的には新年会に対する固定観念があり、オンラインでの開催には躊躇する部分もありました。「変化への抵抗は無知や、未来への不安」と一般的に言われていますが、奨学生はじめ参加者の元気な姿と前向きな姿勢に逆に励まされたと共に変化を柔軟に受け入れることで不安は和らぎ、無くなると実感しました。奨学生もLINE案内のみで全員が参加してくれました、お互いの信頼感は「ロータリーへの真摯な姿勢」で更に深まっ



面接中の漆原ガバナーと梶原ガバナーエレクト



オンライン新年会の様子

地区大会

～クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！～

2021年5月9日(日)

アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

Rotary 2020-21年度 国際ロータリー第2790地区

地区大会記念ゴルフ大会

2021年5月17日(月)

開催場所



鶴舞カントリー倶楽部

〒290-0515 千葉県市原市田尾1293-2
TEL:0436-88-2211

開催要項

スタート 東コース アウト・イン
各7時24分より 8分間隔
※スタート時間の20分前には
チェックインをお願いいたします。

競技方法 前半9ホール 新ペリア集計
(後半のスコアは成績に含みません)
・個人総合の部、女子の部
・シニア(70歳以上)の部
・団体の部(グループ対抗戦)

アトラクション ドラコン、ニアピン(前半のみ)

